



福井県 永平寺町

第56号

令和元年10月18日発行

# 議会だより



永平寺町議会

かばの団体

松岡少年剣道教室

(※ 最終ページに紹介記事)



2 ~ 3 自由なご意見、お聞かせください

## 議会と語らひ

10月23日(水) 24日(木) 25日(金)

12 視察レポート

13 ~ 20 そこが聞きたい! 議員11人が一般質問

永平寺町議会  
facebook



永平寺町議会

検索





# 議会と語り合



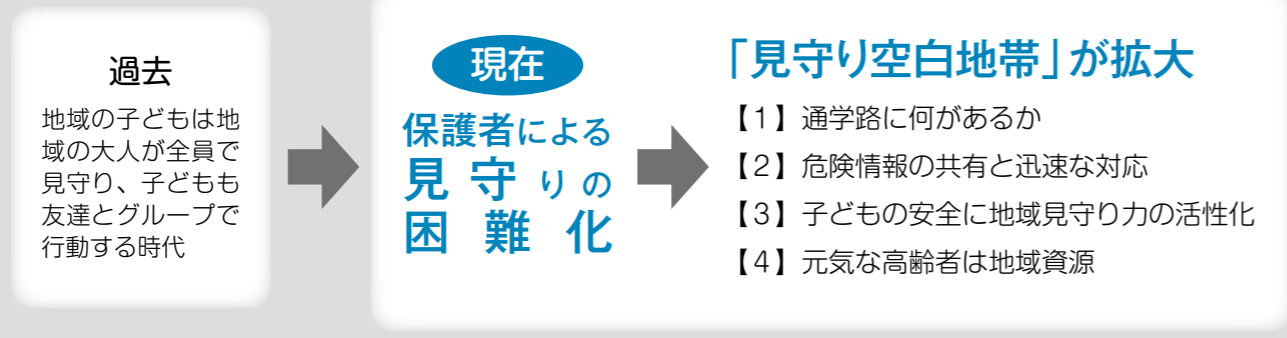
ご都合のよい会場にお越しください

永平寺町議会 🔍 検索

## 10月23日(水)・24日(木)・25日(金) いずれも午後7時00分～

テーマⅠ **子どもの安全を考える** ～通園・通学路は今安全か～

◆通園・通学途上の事故多発とその背景は



- ・人口減少と世帯数増加が同時進行
- ・親との同居から子世帯独立へ共働き家庭の増加
- ・放課後児童クラブや放課後子ども教室利用の子ども増加
- ・下校・帰宅の在り方が多様化
- ・子どもが一人で歩く「一人区間の拡大」+高齢化社会の進行
- ・地域社会の既存の防犯ボランティア(元気な高齢者)が高齢化し、担い手不足
- ・「地域の目」が減少

### 登下校防犯プランの概要

文部科学省

登下校時における子供の安全の課題

(1) 子供の被害は登下校、特に下校時(15～18時)に集中  
 被害件数が減少する中、復讐被害は増加  
 (2) 既存の防犯ボランティアの高齢化、2次被害の増加  
 →「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている  
 (3) 登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務

2. 通学路の合点校の確保及び環境の整備・改善

(1) 通学路の防犯の観点による緊急合点校の整備、危険箇所に関する情報共有  
 (2) 危険箇所の重点的な警戒・見守り  
 (3) 防犯カメラの設置に関する支援、防犯まちづくりの推進

3. 不審者情報等の共有及び迅速な対応

(1) 警察・教育委員会・学校間の情報共有  
 (2) 地域住民等による効果的な見守りや迅速な対応に関する情報の提供・発信  
 (3) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室等の安全対策の推進

4. 多様な担い手による見守りの活性化

(1) 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」等の推進  
 (2) スクールガードの養成、防犯ボランティア団体の活動等の支援  
 (3) 「子供100番の家・家」への支援等

5. 子供の危険回避に関する対策の促進

(1) 防犯教育の充実  
 (2) 集積型下校、10分ダグ、スクールバス等を活用した登下校の安全確保の推進

テーマⅡ **信頼される議会をめざして** ～これまでの議会改革の歩み～

平成24年町議会基本条例の制定より、永平寺町議会は政策提言、議員定数削減、議会の見える化、インターネット活用など議会改革に取り組んでまいりました。

また、永平寺町の本会議日数、一般質問者数は県下の町議会でも最も多く活発な議会運営を行っています。しかし、昨年選挙の投票率は61.59%、県下町議会の中で最下位の投票率となりました。

全国でも投票率低下、無投票は問題化しています。

	市町議会議員選挙			備 考
	定員	立候補	投票率	
福井市	32	36	46.73%	2019年・過去最低
大野市	18	19	60.82%	2019年・過去最低
勝山市	16	17	63.70%	2019年・過去最低
鯖江市	20	25	53.07%	2019年・過去最低
あわら市	18	22	69.09%	2017年
越前市	22	25	57.39%	2018年・過去最低
坂井市	26	27	52.39%	2018年
敦賀市	24	24	無投票	2019年
小浜市	18	20	67.47%	2019年・8年ぶり選挙戦
永平寺町	14	15	61.59%	2018年・合併後最低
池田町	8	11	85.28%	2018年
南越前町	14	20	79.71%	2018年
越前町	14	16	71.98%	2017年
美浜町	14	14	無投票	2018年
高浜町	14	16	71.56%	2019年
おおい町	14	15	79.67%	2019年
若狭町	14	14	無投票	2017年

開催地区は下記のとおりです。

10/23 水曜日 午後7:00～

- 1班 松岡渡新田生活改善センター 松岡渡新田
- 2班 ふるさと学習館 松岡松ヶ原4
- 3班 松岡薬師3丁目区民会館 松岡薬師3

10/24 水曜日 午後7:00～

- 1班 谷ふれあい会館 上浄法寺
- 2班 法寺岡集落生活改善センター 法寺岡
- 3班 諏訪間ふれあい会館 諏訪間

10/25 金曜日 午後7:00～

- 1班 大月集落センター 大月
- 2班 中島生活改善センター 中島
- 3班 湯谷集落センター 松岡湯谷

担当議員 **あなたの声を間近で聞く**

1班 奥野正司 金元直栄 長岡千穂子 川崎直文 朝井征一郎

2班 松川正樹 上田 誠 江守 勲 齋藤剛男 酒井秀和

3班 中村 助太郎 湯波 登喜男 伊藤 博夫 酒井 和美

各会場に私たちがお伺いします。

議案39号 令和元年度一般会計補正予算について

総額 **1億5,736万円**

【主な項目】

総務費

1億3,098万円

内 上志比支所新築工事 1億2700万円 志比北地区デマンド型交通促進事業 217万円  
 高齢運転者安全装置設置補助金 100万円

民生費

1,148万円

内 障がい者施設整備事業補助金 1,000万円

衛生費

111万円

健康増進事業看護師賃金

農林水産業費

140万円

内 地域農業サポート事業補助金 45万円 農業集落排水事業特別会計繰出金 95万円

商工費

45万円

吉峰寺キャンプ場施設整備工事

消防費

122万円

消防団安全装備品整備等補助事業

教育費

1,072万円

内 小中学校適正配置検討業務委託料 416万円 吉野小・志比小・志比北小校舎等改修工事費 301万円  
 学校給食費(調理員派遣業務委託料・非常勤調理員減員賃金差額) 216万円 子育て施設等利用給付費 94万円

議案第40号 令和元年度介護保険特別会計補正予算について

総額 **1,966万円**

支払基金交付金返還金 H30年度介護給付費の精算に伴う、国・県費負担金返還金

議案第41号 令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算について

総額 **95万円**

吉野集落センター建設に伴う公共樹設置工事費

議案42号 令和元年度上水道事業会計補正予算について

総額 **558万円**

【収益的支出】

水道料金収納システム督促手数料賦課機能追加費 **66万円**

右岸配水ポンプ場遠方監視装置更新工事に伴う除却費 **41万円**

【資本的支出】

右岸配水ポンプ場遠方監視装置更新工事 **451万円**

令和元年 第3回定例会報告

議長 江守 勲

令和元年第3回永平寺町議会定例会は、9月2日(月)から10月30日(水)まで59日間開催されます。前半9月24日(火)までは、以下の報告1件・承認3件・議案37号～52号の16件・諮問1件、陳情2件、審査結果申し入れ委員会発委1件、意見書提出議会発議1件が上程されました。慎重に審議を行い、可決した内容は次の通りです。(平成30年度決算認定については継続審議中)

第3回定例会議案

報告第2号 平成30年度財政健全化判断比率等の報告について	報告	議案第46号 松岡福祉総合センター条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第4号 令和元年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第47号 特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例および永平寺町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第5号 令和元年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第48号 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第6号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について	承認	議案第49号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第37号 平成30年度一般会計および当別会計の決算認定について	審議中	議案第50号 消防本部手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第38号 平成30年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について	審議中	議案第51号 財産の無償譲渡について	可決
議案第39号 令和元年度一般会計補正予算について	可決	議案第52号 松岡小学校北校舎棟・渡り廊下棟大規模改修工事の請負変更契約締結について	可決
議案第40号 令和元年度介護保険特別会計補正予算について	可決	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第41号 令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決	陳情第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択
議案第42号 令和元年度上水道事業会計補正予算について	可決	陳情第2号 所得税法第56条の見直しを求める意見書採択について	不採択
議案第43号 消費税および地方消費税の税率引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	発委第1号 第3次行政改革大綱実施計画(平成28～32年度)平成30年度進捗状況審査結果申し入れ事項の提出について	可決
議案第44号 会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の制定について	可決	発議第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決
議案第45号 印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		

議案への賛否一覧 議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席)※議長(江守勲)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第43号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第44号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第46号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第2号	賛	賛	反	賛	反	反	反	反	反	反	反	反	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等19件については全員賛成です。

承認第4号 令和元年度一般会計補正予算6月専決処分の承認について 総額 **140万円**

石舟地区火災によるイントラネットケーブル修繕費 **62万円** 損傷消防用ホース更新費 **78万円**

承認第5号 令和元年度一般会計補正予算8月専決処分の承認について 総額 **253万円**

松岡東幼稚園エアコン取替 **92万円** 上志比幼稚園調理室エアコン取替 **130万円**

北陸吹奏楽コンクール北信越大会出場補助金(松岡中学校、上志比中学校) **31万円**

承認第6号 損害賠償の額を定めることの7月専決処分の承認について 総額 **19万円**

公用車物損事故による損害賠償金支払い(全額総合賠償補償保険適用)

# 9月補正予算主な質疑応答

## 一般会計補正予算 第1審議

### ◆総務課

**問** テマンド型交通促進事業、どのような形で進めるのか、冬季の運行はどうなるのか。

**答** また、コミュニティバスは60才以上無料、本件試走運行の料金体系は、油圧昇降リフトは、福祉タクシーとの関係は。

**問** 公共交通空白区の志北北地区、鳴鹿・山鹿地区において、住民が有償ボランティアのドライバーとなり、地域住民のためのデマンド型交通、ご近所タクシーの試走運行を行う。冬季運行の需要把握も含め、本年11月から試走運行を開始したい。コミュニティバス運行のある試走期間は無料、デマンドタクシー本格運行後は有料移行しコミュニティバスは廃止。料金体系は試走期間の中で地元と話し合い詰めていく。将来的には交通空白地域への展開も想定。車両タイプは今後検討する。福祉タクシーとは別制度。



コミュニティバス

**問** 高齢運転者安全装置設置補助金1件1万円の補助件数100件の算定根拠は。県の補助制度にプラスか。

**答** 町内75才以上高齢ドライバー70人。内1割が利用と想定し100件とした。県の安全装置補助金（設置額の2分の1、上限3万円）も紹介し、安全装置標準品約4万円の場、県補助金2万円と町補助金1万円（各1件）で3万円の補助となる。県制度と合わせて紹介していく。

### ◆財政課

**問** 6月補正で今後の林業振興事業財源として基金積立金に仕分けした森林環境譲与税200万円、今回取崩して上志比支所建設費に充当するのは目的外使用ではないのか。

**答** 森林環境譲与税の用途には①森林整備②林業人材育成③木材利用の促進④森林環境教育の普及啓発が示されている。林業振興に資する地域材の使用促進は目的の一つで、上志比支所新築内装材に温もりや優しさを感じさせる県産材を使用し、木材の良さを実感してもらおうことは、木材需要を高める林業支援策に合致。木材使用は新築のタイミングが重要で、今回の支所新築はそのタイミングに合うもの。

使用し、木材の良さを実感してもらおうことは、木材需要を高める林業支援策に合致。木材使用は新築のタイミングが重要で、今回の支所新築はそのタイミングに合うもの。

↓本件は第2審議へ付す。(P7)

### ◆福祉保健課

**問** 重度心身障がい児・者福祉サービス事業所の吉野塚地係への施設新築補助金1000万円は、介護保険施設への補助金上限5000万円に比べ少なくないか。

**答** 総事業費から国・県補助金を除いた経費に対し2分の1補助、上限1000万となっている。従来障がい児・者施設への補助がなかったが、3年前に補助要綱を制定した。必要があれば制度改善も検討する。

### ◆農林課

**問** 中山間営農継続支援事業補助金45万円は、本町中山間圃場20haに對するものか。

**答** 永平寺町地域農業サポートセンターが行う農作業受託面積を積算し予算化したもの。

### ◆農林課説明

温室効果ガス排出削減目標達成や災害防止等を目的に森林整備等に必要な地方財源確保の観点から「森林環境税および森林環境譲与税に関する法律」が制定され4月1日施行。

### 「森林環境税」

- ・令和6年度から、個人に1人年額1000円の税額が賦課徴収される。
- ・個人住民税均等割と併せ徴収。
- ・「森林環境譲与税」
- ・財源は森林環境税。
- ・譲与率は、都道府県10分の1、市町村10分の9にて譲与。
- ・使途
- ・森林整備とその促進（人材育成・



林道作業道



建替えられる上志比支所

### ◆上志比支所

**問** 旧支所部材にアスベスト含有ありとのことだが、支所新築工事への影響は。

**答** 石綿分析調査の結果、アスベストが検出された。アスベストの浮遊レベルは低い方であるが除去対応に2ヶ月程度要し、解体工事は12月下旬ごろの完了を予定。

**問** 木造支所ということだが木の良さを感ずるものとなるのか。

**答** 真壁式で木質感、木のぬくもりを感じさせるものとなる。

### ◆学校教育課

**問** 小中学校適正配置検討事業でのアンケート内容は議会へも示すのか。

**答** 検討委員会に入って頂く議会議代

担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等)

・本町譲与税試算：令和元年～14年の14年間に1億1400万円。

- ・施行期日
- ・令和元年度から譲与：9月・3月の年2回
- ・経過措置
- ・令和元年度から令和5年度の間は、国が交付税および特別会計借入金を充当。
- ・5月全協資料配布説明
- ・今年度事業予定
- ・森林調査用ドローン購入他50万円
- ・林道維持管理機械借上げ補助金150万
- ・支所建設県産材導入支援200万円

**問** 目的税であるから、使い道の規約を決めてから計画性を持って使用すべきでは。

**答** 森林環境譲与税において、使い道は既に決められていて、上志比支所新築に県産材を使用するための資金に一部使用するのはその定められた使い道に明示されているもの。

**問** 町の目的として、1億1400万円の割り振りを決めてから使うべきではないか。

**答** 本町民間人工林を対象として、管理状況を把握して整備地区の優先順位を策定し、所有者に対する

表にも当然説明するし、議会へも結果内容を報告する。

**問** 吉野小音楽室下天井の隙間発生に、工事の瑕疵はなかったのか。

**答** 元の天井材にアスベスト含有があり、下天井設置での封じ込め対応をしていたが、経年でのコンクリート収縮により隙間が生じたもの。環境調査実施の上でコーキングにて修繕する。

**問** 学校給食調理員確保を人材派遣会社委託とし、費用216万円を補正計上した。応募がないのは調理員募集の時給が低いのでは。給食調理員派遣支払いが1350円なら、当初より正職員採用で考えればどうか。

**答** 時給は他市町の金額を踏まえ、時給825円、845円で募集したが応募がない状況。労働需給は近年引き締まり、求める人員の確保が困難となっている。派遣会社時給1350円は会社諸コスト分も含んでおり、派遣社員への支払い時給ではない。今後、学校給食の運営に必要な調理員確保については、働き方改革の取り組みや他市町の対応状況を踏まえた条件設定はもちろん、派遣社員対応も含めたマンパワーの安定確保が不可欠と考える。

↓本件は第2審議へ付す。(P8)

## 農業集落排水事業特別会計 補正予算 第1審議

### ◆上下水道課

**問** 吉野地係公共柵設置工事費の95万円の補正の要因は何か。

**答** 設置申請箇所の状況により施工延長が延び、当初予算を上回る見通しとなった。

## 上水道事業会計補正予算 第1審議

### ◆上下水道課

**問** 松岡地区右岸配水ポンプ場の遠方監視装置が動作不良のため、更新工事451万円が予算化された。この更新される設備はいつ設置されたものか。

**答** 平成18年設置。耐用年数は9年であるが、現在も使用している。施設の稼働状況や故障時の警報内容を正確に通信できなくなる可能性が高まり設備を更新する。

## 一般会計補正予算 第2審議

1. 財政調整基金に積立てるとして森林環境譲与税の内、200万円を上志比支所建設資金に充当することによる基金積立金の減額補

# 議案への賛否討論

経営管理意向調査と森林管理整備を15年サイクル（令和14年までに1周する計画）で譲与税を活用する。

**問** 荒れるに任せている地域の森林、この先、町に管理を依頼する所有者も出て来る。町は地域の森林の維持整備管理を十分検討してほしい。

**答** 木材価格が下落している。パイオマス等間伐材利用サイクル確立や、林業資源の活用・振興に取り組む。予算を見ながら、意向調査を実施し、予算配分し事業を進めていく。

**問** 人工林割、人口割の譲与税配分が歪だ。県産材を使うということで、6月説明時、使途が変更されていくことは問題だ。建築に使える県産材は使用箇所が限られ、金額的にはわずか。今回の支所新築への譲与税使用は再検討し、基金取崩しは凍結出来ないか。

**答** 支所の設計仕様書では、構造的には大屋根木造、主たる柱は国産カラマツ集成材使用で、以上材料費約1000万円。県産材は大屋根垂木、造作材、壁腰板等で400万円超の材料費となっている。

**答** 森林環境譲与税の使用は、6月議会でも事務費と森林資源調査用ドローン購入費で、議会の承認を頂いている。森林環境譲与税は、森林所有者の意向調査の上で、町

内の森林整備に役立てるべく活用していきたい。

## 2. 学校給食調理員派遣業務委託について

### ◆学校給食課説明

学校給食調理員の採用については、他市町の状況も調査の上、4月より広報やハローワークも通じて広く募集したが、現在に至るまで充足出来ず。検討の結果、今後労働需給が緩和される要因は多く、多少賃金を引き上げても応募がない状況では、人員の充足は困難との結論に至る。人材派遣会社に委託することで安定した調理員の確保が見込め、早く人員不足を解消することで現調理員の勤務条件も改善されることから、志比小2名、松岡中1名、上志比給食セ



ンター1名の非常勤調理員の派遣を、派遣会社に委託する委託料等で計上する。派遣会社委託料は時給1350円。

現在も求人活動は継続して行っているが、いつ人員が充足されるかの保証はなく、現在勤務中の人の勤務条件悪化を招く結果となっている。

調理員労働環境の実情把握に努めた結果、現状の人員不足が続けば、子ども達への安全安心な給食提供にも影響が出る見通しとなったため、人材派遣会社委託を採用した。

**問** 安全安心な給食提供に努めるためには、こうした流れになったことは理解するが、調理員時給と比べ、派遣会社単価時給1350円は格差があるのではないか。

**答** 派遣会社単価は、派遣会社へ1人1350円を支払うもので、従業員手当が1350円という意味ではない。

**問** 尋ねていくと、本当に様々な問題点が浮き彫りにされていく。しかし、以前から抱えている未だに解決されていない課題ばかりだ。

最近、調理員の途中退職が目立つ。これだけ学校給食の職が敬遠されていることに町がしっかりと向き合っていないのではないかと。ここ数年、事態はずつと変わっていない。むしろ深刻化している。

そもそも、現場の仕事は過酷というか、重労働である。一日の労働を終えると、汗がすすぎで、着替えなければならぬ。よくぞ厳しい環境の中で頑張っている。調理員の忍耐の賜物と頭が下がる。おかげさまで学校給食が成り立っていた。現場で働く方々に、上に立つ者は常に、リスベクトと感謝の気持ちを持ってほしい。

もつと初めから、現場に対する気配りをもっとほしい。アンテナを張ってほしい。風通しの良い組織にしてほしい。

**答** 緊急避難的解決策だが、一所懸命、抜本的改善を図る。ただ、それでも調理員が集まりにくい時は、遠い将来に給食センターの設置や、民間会社に外注の道を選択肢としなければならぬ時があるかもしれない。

### 議案第43号

## 消費税および地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

反対討論 金元 直栄

消費税の増税に伴う町の施設利用率等の引き上げだが、町の公共施設等の利用料に係る値上げ分は、町が増税分だとして徴収しても、消費税分として納める必要のないものであり、納める必要のない分を値上げしての徴収は認められない。

### 議案第44号

## 会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の制定について

反対討論 上田 誠

嘱託職員の身分を明確にし処遇改善に繋がるため一定評価する。しかし、正規職員と同一の勤務（特に保育士・調理師）をしながら新たな職種を設け低い賃金体系を設定することで階層別、また、恒久化する制度となるため、政府の同一労働同一賃金に反するものであり、処遇改善になるとは言え、原則的に賛成は出来ず反対する。

### 賛成討論

滝波登喜男

この条例制定は、現在の非常勤職員の処遇改善であり、向上するものである。何ら反対する理由はない。

### 反対討論

金元 直栄

この制度になることで、非常勤職員の待遇が一定改善されることは認めるが、①制度の導入で、職員の二重構造が固定化すること。②一定期間雇用後の更新では、公募を原則としていることで、雇用の不安定さが増すことや、責任の増大などが生ずることから反対する。

### 賛成討論

長岡千恵子

正規採用で働けるのが一番いいが、その人の置かれている環境や事情により正規雇用で働けない場合もある。非常勤やパートタイムで働く人の労働改善となるため賛成とする。

### 議案第46号

## 松岡福祉総合センター条例等の一部を改正する条例の制定について

反対討論

金元 直栄

これも消費税増税に伴う施設

使用料等の料金の値上げとなっているが、納める必要のない消費税分を利用料に上乗せするものには反対する。

### 陳情第2号

## 所得税法第56条の見直しを求める意見書採択について

賛成討論

金元 直栄

第一は政府や自民党内でもこの点は見直すべきだと討論中の案件であり、意見書の提出はこの停滞を進めることになる。第二は、現に家事労働者は対価の支払いが必要経費に算入しないとなっており、車や住宅ローンも組めない等の実害もあることから、早急に改定が必要との意見書を提出すべきだ。よって陳情には賛成する。

### 反対討論

酒井 秀和

所得税法第56条を原則としつつ第57条では事業に専従する親族の場合、必要経費特例等の規定を設けている。青色申告では帳簿等により家計と事業の分離や給与支払いの実態を確認できることから、家族従業員への給与の実態による経費算入を認めている。政府も引き続き丁寧に

検討する答弁しており、町議会の権限に属さない。

### 賛成討論

上田 誠

これは、個人事業者（商店や夫婦で仕事をする）と生計をともにする配偶者や家族の仕事に見合う報酬を必要経費と認めない法であり、今政府でも検討をしており、全国自治体（平成27年384自治体）でも採択している。当町でも政府に対し見直しの意見書提出の陳情であり賛成する。

### 反対討論

酒井 和美

本陳情は自営業の家族従業員の人権保障を求めるものであるが、日本では欧米のように事業主側の人権が保障されておらず、昨今ではフランチャイズ事業主が企業に対し24時間年中無休経営への緩和を求める動きも起きている。働き方改革で事業主側全体の人権が保障される社会の実現を待って後、所得税56条も見直されるべきと考える。

お詫びと訂正 議会だより55号4Pに単位の誤りがありました。訂正して修正いたします。大変申し訳ございませんでした。  
誤 ため池改良工事（轟区）4,639万円 正 ため池改良工事（轟区）463万円

# 第3次行財政改革大綱実施計画 平成30年度進捗状況審査結果 申し入れ事項提出

第3次行財政改革大綱実施計画の遂行にあたっての基本的なサイクルP D C AのC(チェック)を行財政改革特別委員会が行い、次のA(アクション)へ提言する。

- 申し入れ事項**
1. 地区振興協議会を中心とした住民自治の推進については、地区振興協議会が設立されていない地区の意向を聞き、課題を明確にするとともに庁内での方向性を明確にし、設立に関連する庁内各課、地域の強力な連携のもと進められたい。
  2. 積極的な情報発信については、SNSの機能を積極的に使用し、有効的で質の高い情報発信に努められたい。
  3. 定員管理適正化計画に基づく適正な人員配置については、事務事業の見直しを進めるとともに、今後の行政需要を見込んだ業務量を捉えた定員管理適正化計画とされたい。



9月2日(月)審査結果申し入れ事項を河合町長へ提出

3. 第3次行財政改革大綱実施計画(平成28～32年度)44の主要取り組み事項の平成30年度進捗報告を受け、7月31日(水)に22の主要取り組み事項の質問を行政へ提出。提出した質問の回答を受け、8月30日(金)の委員会にて進捗状況を審査し、審査結果を申し入れ事項にまとめた。
- 9月2日(月)の定例会で委員長報告として申し入れ事項を議長へ提出。同日、行政へ提出した。
4. 地域包括ケアシステムの構築については、第7期介護保険事業計画・老人福祉計画に基づき、より積極的に地域やボランティア組織との連携・支援で事業を展開されたい。
5. 事業展開で課題を捉え、第8期介護保険事業計画・老人福祉計画を策定されたい。
6. 物件費の削減を図るについては、物品共同購入や光熱水費の節約は継続しつつ、IoT等の導入により目標を達成されたい。

8月2日に開催し、次の内容を協議した。

1. **決算審議について**  
本会議での決算については、昨年の反省に基づき、改善策を進めて協議した。  
主な改善策は  
① 所管課からの決算説明と代表監査委員との意見交換を設ける。  
② 第2審議での要審査項目を全員で協議する。  
③ 週2回のペースで会議を行う。
2. **議会の電子化について**  
タブレット導入について、運用規定について他の自治体を参考に作成していく。
3. **議員報酬について**  
持続可能な議会議員活動とするため、報酬と働き方をどうするのか。引き続き審議することとなった。

## 陳情第1号は採択 陳情第2号は不採択

総務産業建設常任委員会 委員長 中村勘太郎

9月17日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

1. 本定例会委員会付託議案(2件)  
陳情第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

【意見書趣旨】  
2020年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、歳入歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すため、政府に対し意見書の提出を陳情するもの。

**【主な意見】**

保育の無償化・森林環境譲与税など国の新たな政策に対応する財源確保及び社会保障をはじめとする地方財政需要に対応するため、地方財政の充実・強化を求めるものである。

**【採択の結果】**

委員全員賛成で採択  
陳情第2号 所得税法第56条の見直しを求める意見書採択について  
【意見書趣旨】  
家族従業者の人権保障の基礎をつくるために、政府に対し意見書の提出を陳情する

【主な意見】  
平成28年に不採択となり、今回2回目の陳情となる案件で、陳情の内容は前回と同様。また、所得税法第56条の見直しは、廃止を求めるか両方書かれており不明確である。さらに、趣旨は理解できるが現段階において国が見直し中である。

**【採択の結果】**

委員会において、賛成委員1名、不採択委員5名で不採択。

**2. その他協議事項**

① 事務事業検証について  
自動走行推進事業、有害鳥獣対策事業、ブランド戦略推進事業の各グループから活動および検証内容の報告後、進捗状況、達成度、および効果的な事務事業の手法提言等を確認し議了。

**② その他**

ラッキーマの課題について、ドラックストアー進出の話があるが、議会として支援策の検討について提案があり協議したが、公平な観点から、特定の民間企業に対する支援等意見は議会として望ましくないことを確認し議了。

## 委員会活動の充実を図る

教育民生常任委員会 委員長 上田 誠

9月17日全員出席で開催し、次の内容で意見交換した。

■ 審議案件 なし

■ 協議事項

- ① 事務事業検証について  
11月末までにまとめる。各班の検証進行の確認と今後の対応は次委員会(10月)までにまとめる。
- ② 研究テーマについて  
行政視察(委員会8月)と、町内視察研修を踏まえ、年度末までに提言する。
- ③ 全体視察研修について  
11月19～20日に変更  
大阪島本町/情報公開、通年議会
- ④ 各審議会等の報告  
介護保険、地域包括運営審議会の報告  
決算・基金：増加 相談件数：増加  
施設の増設(りんごの木、なないろ)：利用者増  
町立在宅訪問診療所の報告
- ⑤ 委員会の持ち方 次回開催(10月21日)  
定例議会開催中の委員会と毎月開催の委員会の持ち方について協議：全協で確認する

# 9月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!** 問&答

11名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

## 一般質問：目次

- 松川 正樹 … 13P 伊藤 博夫 … 17P
- 朝井征一郎 … 14P 上田 誠 … 18P
- 酒井 秀和 … 14P 酒井 和美 … 18P
- 長岡千恵子 … 15P 金元 直栄 … 19P
- 川崎 直文 … 16P 滝波登喜男 … 20P
- 齋藤 則男 … 16P

## 問 ラッキーはどうなるの？ 最終局面ですけど



松川 正樹 議員

### 答 議会としてまとまった支援策を

**問** 松岡の一等地で閉店の状況が長引くと、町にとってマイナスイメージになる。大手ドラッグストアが買収の意思を示していると側面聞するが、町は「民のことは民で」と人ごと。最終局面に入る段階で、買い物難民を救うため、食品、惣菜提供等を要望するなど、町の出番が求められている。

**答** 合わせて、数年先には松岡地区に医療難民が発生するという関係者からの指摘がある。それらを食い止めるためにも、ドラッグストアの選定は重大だ。それも町の任務である。

仕事をしたい。ただただ住民を救ってほしい。政治の機能は社会の利害を調整することである。

**町長** ドラッグストアが来て地元商店のこと、買い物難民のこと、町も色々な角度でしっかりやっていかなければならない。住民のニーズの変化によって、大きく流れが変わってきている。



閉店になったラッキー

議会として、こういう支援ができないか、まとまって頂ければ行政として話は聞ける。地元商工会とも連携について提案したい。

**【その他の質問】**  
**問** 松岡公民館の利用度は上がっているが…  
**答** 人的強化と企画力をアップする。  
**問** 永平寺町文化祭よ、永遠なれ！  
**答** お褒め頂き感謝する。展示コーナーのケーブル放送は検討する。  
**問** 永平寺口駅前広

場の整備は終わらない。賑わいを十分に取り戻している。  
**問** 公共交通による地域再生は、まちづくりの有効なツール。  
**答** マイ時刻表はさらにPRに努める。徐々に広がっている。

## 視察レポート

### 行政と住民との協働体制の仕組み(組織)の重要性を改めて認識

8月5日(月) 長野県佐久穂町

- 健康づくり事業の取り組みと保健推進員の活動と町民の健康管理の仕組みづくりの研究。
- 各自の健康管理を家族ぐるみの対応で保健推進員の活動が地域や家庭と深く関連し、行政や医療機関の支援体制の充実がある。



8月6日(火) 長野県小海町

- 支え合いのまちづくりと地域力向上、元気なまち施策の研究。
- 庁舎内に渉外戦略係を配置し直接企業に営業する体制「憩うまちこうみ」事業を中心に企業と協定する新たな手法で人口流出から増加へ繋げようとしている。



8月6日(火) 長野県茅野市

- パートナーシップのまちづくりとみんなのまちづくり支援の研究。
- これからのまちづくりは市民と行政が協働して進めるシステム(公民協働)を明確に打ち出し「地域福祉」「教育」「生活環境」を地域課題の柱として生活に密着したコミュニティにおける「自助」「共助」「公助」のシステムづくりをパートナーシップのまちづくりと位置づけて推進している。



(教育民生常任委員会 上田 記)

## 議会における災害対応マニュアルについて

8月7日(水) 京都府舞鶴市 舞鶴市議会

これまでの策定の経過や、発災直後の各個々の初動の基本的な在り方や行動の確認ができたことや、側面支援の対応等について学ばせて頂いた。また、災害時の情報収集の在り方では、議員は被害状況の掌握に全力を尽くし、議会事務局に情報を送るが、情報をまとめる困難性も発生するなど様々な新たな課題も多いことがあるのだと感じた。

これらの研修で学んだことを参考に、当議会の防災対応マニュアルを作成するうえで議論し、町民の負担に応えたい。

(総務産業建設常任委員会 中村 記)



# 問 幼児教育無償化の内容は

## 答 承認された保育必要量分が無償



長岡千恵子議員

**問** 保育料は市や町、公立、私立で異なるが国からの交付方は、子育て支援課長 国が定める保育料を基準として交付税で措置する。

**問** 給食費の保護者負担分は3歳から5歳児まで一律の料金なのか。子育て支援課長 一律で徴収する。

**問** 今まで、第一子と第二子が同時に幼稚園に入園している場合、第二子の保育料は半額、第三子以降は無償だった。10月以降給食費の割引はどうなるのか。子育て支援課長 今までも、3歳から5歳児の副食費はおやつ代を含めて月平均5000円を提供していた。無償化後も5000円の副食提供をする。差額

**問** 幼稚園幼児園の保育時間は午後2時まで、4時まで、6時までの3通りある。無償



楽しい幼児園

**問** 幼稚園幼児園再編の展望は。答 複数のパターンを示す。

**問** 夏休み中のプール利用の対応は。答 来年から午前中の利用の方向で調整していく。

対し、10月分の年金から、保険料を納めた期間に応じて、月額5000円を上乗せする低年金生活者支援給付金が支給されると聞くがどうか。

**福祉保健課長** 医療保険の高額療養費制度、介護保険と年間の自己負担額の合算、これに応じて判定される高額医療費・高額介護合算療養費制度がある。消費税増税に伴い介護保険料の減額は、非課税世帯である第1段階から第3段階までを対象に軽減を図り、消費税増税に合わせて実施する予定。

の対応をはじめ各種手続き事務業務など発生する期間だった。残業時間については前年と比較して11の課で削減され、全体で1100時間の削減に繋がっている。

適正規模については平成28年4月に245名という定員適正化計画を作って管理してきた。現時点ではこの計画は適切であると判断している。来年度から導入される会計年度任用職員制度も考える。収支のバランスを考えたうえで定員管理していくべきだと考えている。

# 問 高齢者に認知症施策の取り組みは

## 答 認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける



朝井征一郎 議員

**問** 2025年には、65歳以上の約5人に1人が認知症になると推計される中、認知症施策推進基本計画の策定が努力義務付けられた。認知症の人の意向を尊重する共生社会の実現を目指し、家族に寄り添う予防やケア、町づくり、教育、生活支援、早期診断、認知症初期集中支援チーム、家族を支える認知症サポーター。町はどのような施策を考えているのか。

**福祉保健課長** 国が定める認知症施策推進総合戦略に沿って認知症の人が住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることが目標。認知症への理解を深めるための普及啓発、認知症サポーターの養成講座、啓発の講演会や、容態に応じた適切な医療、介護、検診を実施している。また、認知症地域支援推進員を設置し、高齢者に優しい地域づくりの推進、地域の見守り体制の整備をしている。



視察先の資料より

**問** 10月消費税引き上げに伴い、介護保険料が軽減されると聞くが、低年金の高齢者に

# 問 一般行政職員の増員を

## 答 定員管理は適正である



酒井 秀和 議員

**問** 「働き方改革を進める」という話が各方面で取り上げられる中、町民満足度を向上させるためには職員満足度向上が必須である。しかし、本町の職員は今年度の4月から6月で既に10947時間の残業、1日平均で185時間発生している。また、この期間の計画は4100時間で実績との差異が6846時間と計画の精度が低い。今後はやむなしの残業も含めて「なぜ」を3回繰り返し原因を突き詰める。また、この期間の計画は4100時間で実績との差異が6846時間と計画の精度が低い。今後はやむなしの残業も含めて「なぜ」を3回繰り返し原因を突き詰める。

**総務課長** 4月から6月は統一地方選挙等の事務や町立在宅訪問診療所開設に向けた準備、禅シンポジウム関連の準備や大規模火災

課名	職員数	10月1日現在		10月31日現在		増減	増減率
		定員	実績	定員	実績		
総務課	13	11	1017	1450	433	252	169.3
民生課	22	17	2324	2453	129	529	227.8
健康課	3	3	136.9	124.3	-12.2	86	66
財政課	5	5	122	127	5	160	133
高学課	2	2	34.8	32.9	-1.9	61	51.6
上水課	5	4	57	84.8	27.8	128	121.5
給食課	12	10	431.3	745.8	314.5	320	283
福祉課	8	7	356.5	75	271	224	155
南工職労課	6	6	60	63.9	3.9	192	178.5
総務課	10	10	883	820.8	-62.2	320	354.9
民生課	8	7	900	865.5	-34.5	224	281
健康課	6	5	75	311.4	236.4	180	149.2
財政課	11	2	0	28	28	84	83.7
高学課	9	6	197	497.3	300.3	192	159.5
住居生活課	10	8	61	456	395	256	233.8
上水課	9	7	235	400	170	224	198
財政課	8	8	185	730.8	545.8	256	233.7
給食課	3	3	0	283.8	283.8	96	96
合計	358	121	2100.8	1047.8	-1053	372	378.8

職員残業時間と他市町比較データ





# 問 原発事故の避難訓練と本町の対応

## 答 避難所開設の準備で対応した



金元 直栄 議員

**問** 8月末に実施された原発事故想定の際防災訓練で、本町へ南越前町の住民九十三名が避難してきた。訓練とはいえ、避難者を受け入れる本町の計画はどうなっているのか。  
**総務課長** 町では避難住民を上志比小で受け入れ、避難所開設の準備を行う対応をした。事故の際は関係機関と協力し、指針により行

**問** ◆人口対策と小規模宅地の造成  
町は、宅地開発

動することになる。  
**問** 町に对应の計画があるのなら、この機会に町側の訓練や検証を行うべきではなかったのか。  
**総務課長** 国・県の指導と協力を得ながら、必要な部分は検討していく。

**町長** 上志比プール跡地は、町で宅地造成を行う。ただ民間も入りやすい環境も合わせて行なっていく。小規模宅地造成は、住民の協力が整ったところでは進めていく。  
**総合政策課長** 十分民間が進出してくる土地



担い手事業で整備された圃場

# 問 協働のまちづくりは方向性と実践支援

## 答 町民と話し合い連携し構築していく



上田 誠 議員

**問** まちづくりを進めるには町の方針、課題(例 福祉・教育・医療など)に住民と一緒に対処する協働・パートナーシップとして支え合いのまちづくりに町が方向性を示し、組織づくりや実践活動を支援する体制を行政自ら構築する時に来ているのではないか。  
**町長** 地区振興会は活発に活動いただいている。方向性については今何が求められているか町民の皆さんと話し合い、トータル的に進めていく。

**問** ◆安心して暮らす第一歩は健康づくり  
住み慣れた地域や家庭で安心して暮らすには健康づくりが第一歩。当然本人だが町も町民の健康を守る義務がある。地区の保健推進員との連携支援と町立診療所との協力での運動の展開を。  
**福祉保健課長** 保健推



茅野市市民活動センター

針を示す「まちづくり検討審議会」(仮称)を作り住民との協働の自治活動や行政の支援体制を図ることを提案したい。  
**副町長** 住民と行政の協働・パートナーシップの構築は重要であり近い将来必要。今後町民との合意を得ながら進めていく。

# 問 禅シンポジウムをうけて

## 答 意味のある本物の景観づくりを

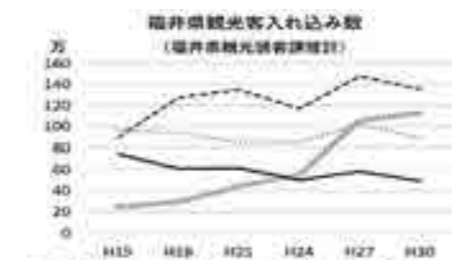


酒井 和美 議員

**問** 伊藤滋氏の講演では、スペインの巡礼地を紹介され、歴史の深さを感じる観光地が強いと話された。永平寺の参拝者数が減少し、現観光事業では楽観できない中、さらなる取り組みの可能性を示唆されたと思う。どう受け止めたか。  
**町長** 昭和の観光が日本中主流になり景観が壊れた。町の歴史、文化、例えば植樹、一つ一つの意味がある、そういった景観にしたいかなければいけない。  
**商工観光課長** 町全体の景観も考えたい。

15年間で20万人減少した永平寺参拝者数

**問** 禅境の景観づくりとして梅を6次産業化しては。道元禅師が好んでよく歌に詠んだ花。町花でもある。  
**農林課長** 希望あれば中山間集落農業支援事業で支援。  
**問** 県経営者協会前田会長から、労働者の心の健康を支える町であってほしいと発言があった。3月の福井大学友田先生の講演においても永平寺のお蔭元としてマインドフルネスなど活用し、心のケアで虐待予防と話があった。  
**町** 町では心のケアに有効な事業も開催されて



進員、診療所との連携を図り進めていく。  
**町長** 高齢化社会を迎え健康が大事。健康寿命を伸ばす活動や健康状態を分析、数値化して進めていく。

**◆循環型社会はゴミ減量住民活動人づくり**  
**問** ごみ減量化に向けた具体策を住民活動の中に位置づけ、環境や生活課題解決に向けて持続可能なまちづく

り、人づくりが必要。  
**住民生活課長** 環境基本計画に基づき具体策を検証し、各種団体や住民に推奨発信し、有料化も視野にいれ取り組んでいく。

いる。ばらばらに行うのではなく、まとまった情報発信を行い、事業回数も増やしては。  
**住民生活課長** 気候療法事業を大学、気候療法士会と連携し継続し

ていきたい。  
**子育て支援課長** 大学連携のAキッズには今年から保育士も参加。  
**福祉保健課長** 療育支援、介護予防、それぞれ効果を認識してい

る。マイ介護予防メニューといった発想も可能。認識新たに取り組みたい。  
**総合政策課長** ホームページの改訂で何か取り組みたい。

は民間に任せるとの答弁だが、小規模宅地の開発に取り組まなくても、地域振興や人口対策は打開できるのか。小規模宅地開発は有効だと、可能性調査まで行ったが、あれは何だったのか。旧松岡町では行政主導の開発は有効だったが。  
**◆土地改良区の会計複式化への支援を**  
**問** 数年中に土地改良区の会計が複式簿記へと変更されるが、事務局は対応に苦慮している。今や農家は農地への執着もなくなり、役

員のみならずさなくなっている。土地改良区の組織のある内に、行政の支援が必要だ。  
**農林課長** 町内には5つの土地改良区があるが、実態は様々だ。町も重要案件だと考え、公平性を考え対応を見出したい。

# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!

7/1

議会広報研修会



年に2回、広報の専門家から学びます

8/24

永平寺大燈籠ながし



夏の終わりの幻想的な風物詩

9/24

街頭指導



雨にも負けず、風にも負けず

9/29

地区体育祭



松岡地区



永平寺地区



上志比地区

8/9

議員研修会



自治会館にて講演を聴く

9/7

永平寺町敬老会



高齢者の功労に感謝をこめて

10/2

決算認定(現地確認)



竹原地係の歩道整備事業を確認

## 問 循環型社会の形成に向けて

### 答 雑紙回収など新たな手立てを



滝波登喜男 議員



九頭竜川クリーンアップ作戦

**問** 町民一人一日当たりのごみ搬出量は760gと全国平均(920g)以下だが、リサイクル率は17%(全国20%)で大きく下回っている。その原因は、リサイクルに努力している自治体の多くは、焼却施設や最終処分場の新設や増設が出ないという理由がある。笹岡にある共同焼

却施設等の課題やその対応策はどうか。  
また、ゴミ袋の有料化の際には、新たなごみ減量化の手立てがなければ町民理解は得られない。  
**住民生活課長** リサイクル率が低いのは、紙類を可燃ごみとして扱っているからだと推測している。雑紙のステーション回収や、段ボールのコンポストによる生ごみ処理を推奨し、減量化に努めている。  
焼却施設は令和13年に、最終処分場は10年に期限が近づく。  
**町長** 以前視察に行っ

た総社市では、市民の皆さんに「ここまで減量化が達成できなかったら料金を上げる」と何年前からお願いたところ、減量化につながり上げてくたかった。減らしていくにはどうしたらいいか、十分検討し町民の協力を求める。  
**◆空家等対策計画の内容**  
**答** 容は  
**問** 県の空き家率は13・8%。本町の状況と空家等対策計画の内容は。  
**建設課長** 空き家は320戸で、空き家率は4・24%。松岡地区175戸、永平寺79戸、上志比66戸となっている。対策計画は、空き家を発生させないための予防から活用までの具体的取り組みを示す。

## 地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2019年10月25日(金)~10月30日(水)

時	10月25日(金)	10月26日(土)	10月27日(日)	10月28日(月)	10月29日(火)	10月30日(水)	時
10	9月2日 第3回定例会 (開会・町長招集あいさつ) 1時間8分	9月9日 一般質問② 酒井 秀和議員 1時間14分	9月9日 一般質問④ 川崎 直文議員 齋藤 則男議員 1時間47分	9月10日 一般質問② 酒井 和美議員 1時間9分	9月12日 本会議 9月補正予算審議 2時間44分	9月19日 本会議 9月補正予算審議 1時間38分	10
11							11
12							12
13							13
5							5
21							21
22	9月9日 一般質問① 松川 正樹議員 朝井征一郎議員 1時間28分	9月9日 一般質問③ 長岡千恵子議員 1時間11分	9月10日 一般質問① 伊藤 博夫議員 上田 誠議員 1時間51分	9月10日 一般質問③ 金元 直栄議員 滝波登喜男議員 1時間43分	9月12日 本会議 9月補正予算審議 1時間54分	9月24日 本会議 9月補正予算審議等・採決 57分	22
23							23

★テレビ番組の構成上、番組表はあくまでも予定時間であり、開始時間の遅れが生じることがあります。詳細につきましては、リモコンの番組表でご確認ください。(午前10時~12時頃、午後10時~12時頃)お手数をおかけして、誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

傍聴にお越しく下さい

# 12月定例会 (予定)

生中継

- 12月 2日(月) 10時～ [本会議]
- 12月 9日(月)・10日(火)・11日(水) 10時～ [一般質問]
- 12月 12日(木) 9時～・16日(月) 13時30分～ [本会議・第1審議・第2審議]
- 12月 18日(水) 10時～ [本会議・第3審議・採決]
- 12月 19日(木) [予備日]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。  
 ○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上って、3階議場傍聴席にお越しく下さい。  
 ★エレベーター完備

## 議会・各委員会の議員出欠状況

令和元年6月24日～令和元年9月24日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	松川 正樹	上田 誠	中村 勘太郎	金元 直栄	滝波 登喜男	齋藤 則男	奥野 正司	伊藤 博夫	長岡 千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井 征一郎	江守 勲		
出席回数	25	22	20	16.5	23	17	22	18	21	26	22	22	17	18		
会議回数	26	22	22	18	26	18	22	18	22	26	22	22	18	18		
出席率	96%	100%	91%	92%	88%	94%	100%	100%	95%	100%	100%	100%	94%	100%		
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 弔…弔事													
1	6/24	議会広報特別委員会	○	—	—	—	×	—	○	—	○	○	○	—	—	
2	6/25	全員協議会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
3	7/3	議会広報特別委員会	○	—	—	—	×	—	○	—	○	○	○	—	傍	
4	7/5	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
5	7/8	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
6	7/11	議会広報特別委員会	○	—	—	—	忌	—	○	—	○	○	—	傍		
7	7/16	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○		
8	7/19	全員協議会	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	8/2	議会改革特別委員会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
10	8/2	議会運営委員会	○	○	×	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
11	8/5	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
12	8/9	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○		
13	8/27	全員協議会	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
14	8/27	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
15	8/30	行財政改革特別委員会	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○		
16	9/2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
17	9/2	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
18	9/2	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
19	9/2	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—	傍		
20	9/9	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
21	9/10	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
22	9/11	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
23	9/12	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
24	9/17	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○		
25	9/17	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
26	9/19	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
27	9/19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
28	9/24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
29	9/24	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

議会だより表紙を飾る



募集中!!

町の活力! がんばる団体!!

対象：小中学生が活躍する団体および部活動

内容：表紙写真と裏表紙活動レポート

※詳しくは永平寺町議会事務局までお問い合わせください。  
 永平寺町議会事務局 TEL：61-3950



本会議



議会広報特別委員会

# 「己に勝つ!!」

## 松岡少年剣道教室

「めん!」「どう!」「こて!」元気いっぱいの夫きな声が体育館に響く。くったくのない子どもから、少年剣士に変わり、相手の動きを見定めて、全力で自分と戦っている。



### ◆パパが指導者

竹本先生が指導するきっかけは、小学3年生になった御子息が剣道を始めた際に当時の指導者から一緒に教えてほしいと依頼されたことに始まる。それ以来、剣道経験のある先生方に加え、パパが指導者になる流れが引き継がれて今では子どもが先輩という指導者もいる。また、卒業生が中学校や高校の部活を終えて駆け付けるなど子ども達の上達に好ましい条件が揃っている。

### ◆過程が大事

松岡少年剣道では3段階で目標を立てている。1番目は高い目標。2番目、3番目は1番目の目標を達成するために越えるべき項目を目標に設定する。先生方は子ども達が試合で勝つことは嬉しいが、大事なのは結果ではなく過程にある。練習したことを試合に出せることが大切だと目標達成に向けて取り組む子ども達に時に厳しく、時に明るく、成功したら褒める文化を作り上げている。



### ◆人間性豊かに

竹本先生は「子ども達の将来について一指導者として子ども達の人間性を高めてあげたい。今は小学生らしく当たり前のことを当たり前にできる人に育てたい、大人になっても困難に立ち向かい自分に勝てる人に育てたい。」と目を細める。

### ◆大会を通じて生まれた仲間との絆

剣道教室には小学生12名（男子9名、女子3名）が所属。今年度も県大会で団体戦優勝、個人戦準優勝など好成績を残している。女子団体準優勝に貢献した主将の平田はなさんは「試合前に緊張していたものの試合では攻めと守りにメリハリをつけて相手を崩す自分の剣道に集中出来た。また団体戦では試合を重ねていく中で個々の役割を見出し、チームとして戦うことで仲間との絆を深めることができた。」と話している。

### ◆感動体験

今回の取材で何より驚いたのは子ども達の礼儀正しさである。話をする時は正座をして相手の顔を真正面に見ながら話す、聞くという姿勢に感動させられました。このまま真っ直ぐ前を向いて成長して欲しいと願う。

(長岡 記)

## 編集者のひと言

植物の実り・色彩・虫の音色などの変化を感じ、楽しむ季節となりました。自然が大きく変化する10月に議会だより56号をお届けします。

特集(2〜3ページ)として10月23日(水)〜25日(金)に開催の「議会と語ろう会」テーマ「子どもの安全を考える」通園・通学路は今安全か」を信頼される議会をめざして「これまでの議会改革の歩み」を取り上げていきます。ご覧いただき「議会と語ろう会」への皆様のご参加、多くの「意見・ご提言」をお願いします。

(川崎 記)

### 議会広報特別委員会委員

委員長 奥野正司  
副委員長 松川正樹  
委員 滝波登喜男・長岡千恵子  
川崎直文・酒井和美  
酒井秀和

### 発行責任者

議長 江守勲